

Active Mounter 2.5.2

Guide

Active Open Communications K.K

目次

目次	2
著作権について	3
ソフトウェア使用許諾契約書	4
はじめに	5
ActiveVFS	5
稼働環境	6
パッケージ内容	6
特徴	7
使用中のご注意	7
インストール方法	8
アンインストール方法	10
ユーザ登録	11
マウント方法	12
マウントダイアログ	13
FTP オプション設定	16
SFTP オプション設定	24
SFTP の公開鍵と秘密鍵の設定	27
プログレスダイアログ	29
アンマウント方法	30
メニュー	31
キーチェーン	34
ファイル/フォルダ名変換	40
制限事項	41
サポート窓口	43
リリースノート	44

最新情報やライセンスキー購入方法は <http://www.activeopen.co.jp> をご覧下さい。

Active Mounter 2.5.2 Guide 2007 年 12 月 3 日

著作権について

このマニュアル及びマニュアルで解説するソフトウェアの著作権は、株式会社アクティヴオープンコミュニケーションズが全て保有しています。

著作権法により、ソフトウェア使用許諾契約書に記述された場合を除き、当社の書面もしくは電子メールによる許可無しに、いかなる形式（電子的・磁氣的・写真・録音・その他）にせよ、このマニュアル及びソフトウェアの全部または一部を複製・蓄積・送信することを禁じます。

複製が許可されている場合、オリジナルに添付されている所有権と著作権と同じ文書を複製物に添付しなければなりません。他の全ての登録商標は、それぞれの所有者の所有物です。

Active Mounter は Metrowerks 社の CodeWarrior 9.6 及び Xcode 2.4.1 で開発されています。Active Mounter KEXT は Apple 社の Xcode 2.4.1 で開発されています。

Copyright (c) 2003-2007 Active Open Communications K.K. All rights reserved.

Active Socket Library for Mac OS 9 uses BSD socket library headers.

Copyright (c) 1983, 1990 The Regents of the University of California.
All rights reserved. This product includes software developed by the
University of California, Berkeley and its contributors

Active Mounter uses WASTE 1.3 library for the Log Window.

Special Thanks to WASTE Library Author: Mr. Marco Piovanelli.

WASTE text engine © 1993-1998 Marco Piovanelli

ソフトウェア使用許諾契約書

定義

本契約において次の用語は次の定義を有するものとします。

- ・ 「弊社」とは株式会社アクティヴオープンコミュニケーションズをいいます。
- ・ 「使用者」とは本パッケージを取得し使用する個人又は事業体をいいます。
- ・ 「パッケージ」とは、ソフトウェア、マニュアルおよびその他本契約に添付される品目をいいます。

許可される使用

弊社は下記に定める条項に従って、本パッケージのソフトウェアを使用する、譲渡不能の非独占的使用権を使用者に許可します。

- ・ 使用者は、一度に一台のコンピュータで本パッケージのソフトウェアを使用することができます。
- ・ バックアップ用として、ソフトウェアの複写を一部作成することができます。この複製物は自動的に弊社の所有権に帰属し、本契約に従うものとします。

禁止される行為

使用者が次の事項をなすことは禁止されています。

- ・ 使用者が一台のコンピュータで個人的に使用する場合を除き、ソフトウェアを改変し、またはそれを他のプログラムと併合すること。ソフトウェアの改変、併合された部分は本契約に従うものとします。
- ・ 弊社の書面による同意なしに、ソフトウェアに関する二次的開発物を翻訳、または作成すること。
- ・ ソフトウェアの著作権、特許権その他所有権の表示を取り外し、または判読不明にしたり変更したりすること。
- ・ ソフトウェアのリバース・エンジニアリング、ディスアセンブル、デコンパイル等をなし、ソフトウェアのソース・コードを解明しようとする。
- ・ ソフトウェアの再使用許諾、販売、貸し出し（賃貸を含む）をすること。もし、使用者が本契約に違反した場合には、自動的に使用権許諾は無効となり、使用者は本パッケージに含まれるソフトウェア、マニュアルその他を弊社に返還するか破棄しなければなりません。
- ・ 使用者がライセンスキーをインターネット等に公開すること。

限定保証

弊社は、弊社が納得した時点において、ソフトウェアが最新のものであり、弊社の設定した仕様に一致していることを保証します。弊社は、ソフトウェアにバグ、エラー、および脱落がないことを保証しません。もし、ソフトウェアが上記の保証に一致しなかった場合には、弊社はディスク交換やアップデートを含む合理的な努力を尽くします。弊社は、本パッケージの使用に伴う、直接、間接の損失に関して何らの責任を負いません。コンピュータ・プログラムまたはデータの復旧、回復に要する費用を含めて、弊社の製品に記憶され使用されたコンピュータ・プログラムにつき、一切の責任を負いません。

APPLE COMPUTER, INC. ("APPLE") MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, REGARDING THE APPLE SOFTWARE. APPLE DOES NOT WARRANT, GUARANTEE OR MAKE ANY REPRESENTATIONS REGARDING THE USE OR THE RESULT OF THE USE OF THE APPLE SOFTWARE IN TERMS OF ITS CORRECTNESS, ACCURACY, RELIABILITY, CURRENTNESS OR OTHERWISE. THE ENTIRE RISK AS TO THE RESULTS AND PERFORMANCE OF THE APPLE SOFTWARE IS ASSUMED BY YOU. THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES IS NOT PERMITTED BY SOME STATES. THE ABOVE LIMITATIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

IN NO EVENT WILL APPLE, ITS DIRECTORS, OFFICERS, EMPLOYEES OR AGENTS BE LIABLE TO YOU FOR ANY CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR INDIRECT DAMAGES (INCLUDING DAMAGES FOR LOSS OF BUSINESS PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION, LOSS OF BUSINESS INFORMATION, AND THE LIKE) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE APPLE SOFTWARE EVEN IF APPLE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. BECAUSE SOME STATES DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF LIABILITY FOR CONSEQUENTIAL OR INCIDENTAL DAMAGES, THE ABOVE LIMITATIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

はじめに

この度は Active Mounter をお買い上げ（もしくはデモ版を試用して）いただき、誠にありがとうございます。Active Mounter はマッキントッシュ初心者から上級者の方々まで幅広い利用を目指したグローバルリソースマウンタです。

Active Mounter は、各種プロトコルでデバイスやサーバに接続し、データやリソースをファインダのデスクトップ上に、まるでハードディスクのようにマウントします。今までのようなアプリケーション内のウィンドウ表示ではなく、使い慣れたファインダインターフェースで、ファイルの検索や送受信が可能です。現在はFTPとSFTPプロトコルのサポートですが、今後のバージョンでHTTP等の各種標準プロトコルをサポートする予定です。

Active Mounter OEM 版（専用プロトコル追加等のカスタマイズ、サイトライセンス、貴社の商品へのバンドル等）も承っております。

詳細は activeopen@mac.com 山田宛に電子メールでお問い合わせ下さい。

ActiveVFS

Active Mounter コアの ActiveVFS は、各 OS の VFS (Virtual File System) を統合化した UVFS (Unified Virtual File System) です。ActiveVFS 用のファイルシステムドライバを記述すれば、各 OS 用にほとんどソースコードを変更することなく簡単に移植可能です。まともな関数仕様書も存在しない VFS と格闘する必要もなくなります。難解で泥臭い作業は Active Open が引き受けます。

応用例として、USB デバイス／携帯電話内のデータやリソースを簡単にデスクトップ上にマウントし、ファイルとしてデータ交換が可能です。 ActiveVFS は、RICOH 社の 2000 年以降のデジタルカメラ RDC シリーズ / RDC-I シリーズ / Caplio シリーズに標準採用されています。

Active Mounter / ActiveVFS の Windows 版及び Linux 版も開発中です。

ActiveVFS の詳細は <http://www.activeopen.co.jp> をご覧下さい。

稼働環境

Active Mounter を使用するためには、以下の環境が必要です。

- ・ 128 メガバイト以上のメモリを搭載した Power Macintosh
(256 メガバイト以上を推奨)
- ・ Mac OS 9 もしくは Mac OS X 10.1.5-10.5.1 のシステムソフトウェア
- ・ TCP/IP 接続環境

パッケージ内容

ファイル名	ActiveMounter.img	(Disk Copy イメージ)
パッケージ内容	Active Mounter Active Mounter.pdf	(実行プログラム) (PDF マニュアル)

特徴

- ・ ホームページをマウントしよう！ ハードディスク感覚で扱えますので HTML や JPEG ファイル等の追加／編集／移動／削除はとても簡単です
- ・ コマンドラインやリストタイプの FTP/SFTP から、マウントタイプの ニューFTP/SFTP を使ってみましょう
- ・ サーバ内のファイル検索は Sherlock やファインダにおまかせ！
- ・ セキュアな SFTP で、モバイルからでも安心転送！
- ・ キーチェーン対応 ポップアップメニュー選択で一発マウント！
- ・ 日本語／英語のバイリンガルサポートです
- ・ シンプルイズベスト！ 誰でも簡単に使いこなせるソフトです

使用中のご注意

- ・ 大切なデータは必ず保存してください。お客様が操作を誤ったり本製品に異常が発生した場合、データが消失することがあります。
- ・ 本製品の不具合による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品の使用により生じた損害については当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- ・ 本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・ このソフトウェアは著作権法及び国際条約により保護されています。

インストール方法

アーカイブファイルは、Mac OS 9 用 Disk Copy の圧縮イメージフォーマットで配付されています。(Mac OS X 上でもマウント可能です)



上記のファイルをダブルクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



左の Active Mounter は Mac OS 9 & X 共用の実行プログラムです。お使いのハードディスクにコピーして下さい。

(Mac OS X 10.4 – 10.5 用のユニバーサルバイナリ版と Mac OS 9 & Mac OS X 10.1.5 – 10.3.9 用がありますので、適切な方をコピーして下さい)

Mac OS X 上で、漢字名を含んだフォルダにコピーしないで下さい。ActiveVFS KEXT を読み込めず、マウントできなくなります。

右の Active Mounter.pdf は、PDF マニュアルです。

Mac OS X 用 Active Mounter は管理者特権を必要とします。Active Mounter を初めて起動した時に、認証ダイアログが表示されますので、管理者の名前とパスワードを入力して下さい。



アンインストール方法

Mac OS X 用のアンインストール方法

実行プログラムの Active Mounter と

ホームディレクトリ : ライブラリ : Preferences 内の

Active Mounter Prefs

jp.co.activeopen.ActiveMounter.plist (存在していた場合)

Active Mounter.plist (存在していた場合)

を削除して下さい。



Mac OS 9 用のアンインストール方法

実行プログラムの Active Mounter.app と、起動ボリューム : システムフォルダ : 初期設定フォルダ内の Active Mounter Prefs ファイルを削除して下さい。



ユーザ登録

Active Mounterを初めて起動した時にユーザ登録ダイアログが表示されます。電子メールアドレスとライセンスキーを入力後、OKボタンをクリックして下さい。



電子メールアドレス

電子メールアドレスを半角で入力します。

ライセンスキー

ライセンスキーを半角で入力します。ライセンスキーは大切に保管して下さい。

デモ

デモモードで起動します。デモの制限事項は以下の通りです。

- ・アプリケーション起動後、5分間試用できます
- ・ボリュームをアンマウント後、1分間はマウントできません
- ・1MB以上のファイルは送受信できません

マウント方法

ユーザ登録後、下図のマウントダイアログが表示されます。

試しに「ホスト名」フィールドに <ftp.apple.com> と入力し、「キーチェーンに保存」チェックアイテムをオンにして「OK」ボタンをクリックして下さい。

(<ftp.apple.com> に接続できない場合は、<ftp.ij.ad.jp> を指定して下さい)



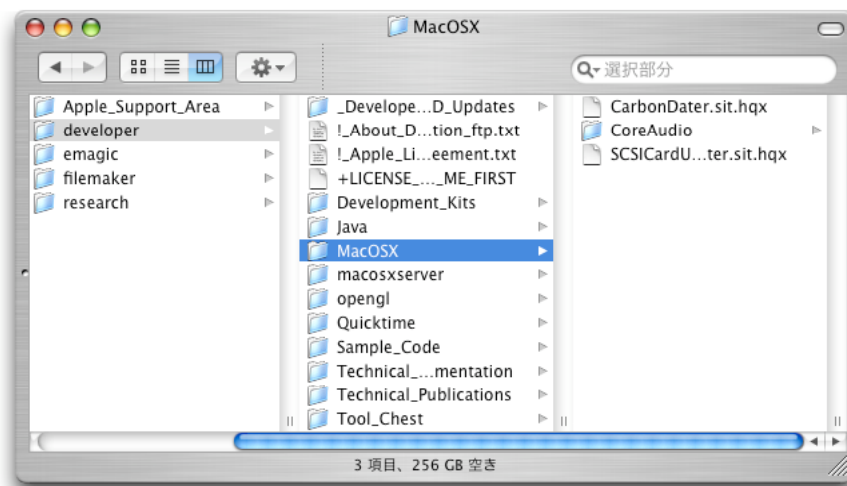
デスクトップ上に FTP ボリュームがマウントされます。



ボリューム名先頭の ftp-はプロトコル（スキーム）名です。
その後の文字列は接続先のホスト名です。

同時にマウント可能な最大マウントボリューム数は、4 ボリュームです。

ファイルの送受信は、ハードディスクに読み書きするのと同じ感覚で行えます。
以下の例は Mac OS X のファインダでブラウズ中の画面です。



次回のマウント時に「キーチェーン」ポップアップメニューをクリックすれば、キーチェーンに保存されているホスト一覧が表示されます。同じホストに接続する場合は、このメニューを選択して下さい。



マウントダイアログ

プロトコル (スキーム)

使用するプロトコルを選択します。

現在のバージョンでは FTP と SFTP (Mac OS X 用のみ) です。

キーチェーン

キーチェーンに保存

キーチェーンは、パスワードデータベースです。プロトコル・ホスト名・ユーザ名を検索キーにして、パスワード・ディレクトリ・オプションを取得します。

マウント時に「キーチェーンに保存」チェックアイテムをオンにしてマウントすると、「キーチェーン」ポップアップメニューにキーチェーン情報が追加されます。一度キーチェーンに保存すれば、このポップアップ内の項目を選択するだけでマウント先情報を自動的に入力できます。



もし、パスワード・ディレクトリ・オプション設定を変更したい場合は、「キーチェーンに保存」チェックアイテムをオンにして再度マウントして下さい。プロトコル・ホスト名・ユーザ名を変更した場合、キーチェーンは異なるデータベースとして管理します。

自動マウント

「自動マウント」チェックアイテムをオンにすると、「キーチェーン」ポップアップメニューの項目選択時とマウント設定ファイルのオープン時（ダブルクリック時）に、ダイアログを表示することなく自動的に接続します。

自動マウントを強制的にオフにしたい場合は、シフトキーを押し続けて下さい。マウント設定ダイアログが表示され、「自動マウント」チェックアイテムをオフに設定するタイミングが得られます。

ホスト名

接続先のホスト名もしくは IP アドレスを入力して下さい。

例 : <ftp.apple.com> , <ftp.iij.ad.jp> , <ftp.kddlabs.co.jp> , <127.0.0.1>

ユーザ名

ユーザ名を入力します。ご自分のホームページをマウントされる場合は、そのユーザ名を入力します。FTP でゲストアクセスが許可されているホストへ接続する場合は、何も入力する必要はありません。アプリケーションが自動的に anonymous (匿名の意味) というユーザ名をホストに送信します。

パスワード

パスワードを入力します。ご自分のホームページをマウントされる場合は、そのパスワードを入力します。FTP でゲストアクセスが許可されているホストへ接続する場合は、何も入力する必要はありません。アプリケーションが自動的に [anonymous@user.net](#) というパスワードをホストに送信します。

SFTP の場合は、パスワードの代わりに秘密鍵のパスフレーズも受け付けます。

ディレクトリ

ディレクトリを指定します。このフィールドに何も入力されなかった場合は、デフォルトディレクトリにマウントされます。

相対パスを指定する場合は、/文字列を先頭につけずに指定します。デフォルトディレクトリに、相対パスが追加された場所がマウントされます。

相対パス例 : docs (デフォルトが/pub なら/pub/docs がマウントされる)

絶対パスを指定する場合は、/文字列を先頭につけて指定します。

絶対パス例 : /, /pub , /developer

FTP オプション設定

FTP プロトコルのオプションを指定します。



FTP オプション設定のデフォルトは「受動 FTP モード(PASV)を使用する」と「TCP/IP チューニング」がオンです。他のオプションを指定すると若干転送速度が落ちますので、必要な時のみ指定して下さい。

マックのファイル名やデータ・属性を可能な限り保持したい場合には「リソースフォークを送信する」「エンコーディング」(ポップアップメニューは「%HEX エンコーディング」)「シンボリックリンク」(SFTP の場合は必要なし)の3つのオプションを指定して下さい。

サーバが Mac OS X / Mac OS 9 でない場合、キャラクタセットも指定します。

受動 FTP モード(PASV)を使用する

ファイアーウォール等の影響で、FTP プロトコルでデータ転送時に FTP サーバ側からクライアントに接続できない場合に、このオプションを指定します。このオプションを指定するとデータ転送時にクライアントから FTP サーバに接続します。

受動 FTP モードのデフォルトはオンですが、必要ならばこのオプションをオフにしてください。オンで応答がなかった場合は、15 秒後のタイムアウトで自動的にオフになり再接続されます。

ポート

FTP のコントロールポート番号を指定します。「ポート」チェックアイテムがオフの場合、ポート番号はデフォルトの 21 です。値は 1 から 65535 まで指定可能です。

0 バイトファイルを送信する

0 バイトのデータフォークのファイルを送信する場合にオンに設定します。

隠しファイルを送信する

.cshrc 等のようなファイル名が.で始まる、ファインダ上では表示されない隠しファイルを送信する場合にオンに設定します。

Mac OS X ファインダ情報をを送信する (.DS_Store)

Mac OS X ファインダ情報の.DS_Store ファイルを送信する場合にオンに設定します。「隠しファイルを送信する」がオンの時のみ指定可能です。

リソースフォークを送信する (Mac OS X 用のみ)

リソースフォークを送信する場合にオンに設定します。

このオプションがオンの場合、リソースフォーク及び Macintosh ファインダ情報 (FInfo / FXInfo) が AppleDouble Format 形式でサーバに送信されます。ファイル名は、データフォークのファイル名に `._` が追加されます。前述の 3 つのオプションは強制的にオンに設定されます。

送信特権・受信特権

ファイル送受信時のファイル特権を指定します。FTP サーバに CGI ファイル等を送信する場合や、アクセス権を指定したいときなどに有用です。

指定方法はファイルモード及び同一特権の 2 通りをサポートしています。

ファイルモード

UNIX の特権フォーマットであるオナー・グループ・その他の 3 つの特権を 8 進数で指定します。(詳細は UNIX 関連のドキュメントをご覧ください)

この指定はファイルのみ有効であり、ディレクトリには適用されません。
ディレクトリは FTP サーバのデフォルトの特権が適用されます。

Mac OS 9 用では送信特権のみ指定可能です。受信特権は指定できません。

<input checked="" type="checkbox"/> 送信特権	ファイルモード	660	(8進数)
<input checked="" type="checkbox"/> 受信特権	ファイルモード	660	(8進数)

上記の例では 660 (rw- rw- ---) で、オナー及びグループの読み書きアクセスを許可し、その他のアクセスを禁止しています。CGI ファイルの場合は、755 (rwx r-x r-x) のように、実行特権を加えます。

実行特権が実際与えられるかどうかは FTP サーバ側の設定次第です。(Mac OS X の標準 FTP サーバの場合は、実行特権はデフォルトで与えられません)

同一特権 (Mac OS X 用のみ)

送受信時に転送元と同一の特権を指定したい場合に使用します。

Mac OS 9 用では、この指定はできません。

この設定の場合は、ディレクトリも設定対象となります。



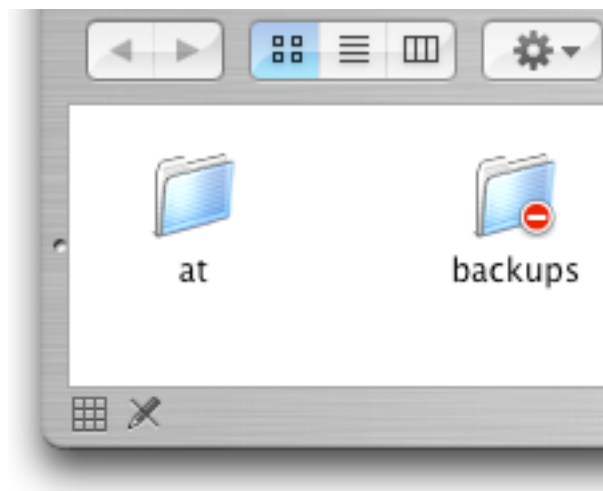
ファイルモードの場合と同様にファイル送信時に同一特権が与えられるかどうかは FTP サーバ側の設定次第です。

オーナー名・グループ名

FTP / SFTP サーバ上のオーナー名・グループ名（もしくは数字のオーナーID・グループID）を半角英数字で指定します。

<input checked="" type="checkbox"/> オーナー名	<input type="text" value="user"/>
<input checked="" type="checkbox"/> グループ名	<input type="text" value="staff"/>

このオプションを指定しない場合は、ユーザはサーバ上の全てのファイル／ディレクトリのオーナーであると見なします。このオプションを指定した場合は、以下のようにファインダ上で書き込み禁止やアクセス不可能なフォルダのアイコンを表示できます。



Mac OS 9 用の場合は、書き込み禁止のみサポートされます。アクセス不能なフォルダのアイコンは表示されません。

キャラクタセット



サーバのファイル名のキャラクタセットを指定します。

Unicode Macintosh (UTF-8)	Mac OS X / Decomposed Unicode UTF-8
Unicode Windows (UTF-8)	Windows / Precomposed Unicode UTF-8
欧米 (Mac OS Roman)	Mac OS 9 / Mac OS Roman
日本語 (Shift JIS)	Mac OS 9 / Shift JIS
日本語 (EUC)	Unix / EUC

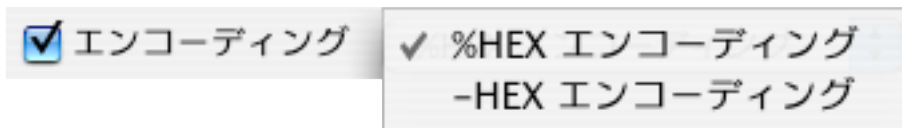
Mac OS X 用のキャラクタセットは Decomposed Unicode
Windows NT 系のキャラクタセットは Precomposed Unicode
Mac OS 9 用は Mac OS Roman や Shift JIS

がデフォルトです。

システムと異なるキャラクタセットを選択した場合、Active Mounter はファイル名を自動的に変換します。

Unicode Windows (UTF-8)は Mac OS X 用のみ選択できます。Mac OS 9 用では Precomposed Unicode への変換機能がシステムにないため選択できません。

エンコーディング

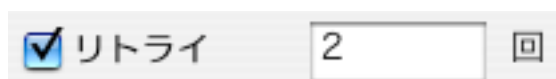


FTP プロトコルでファイル名にコントロールキャラクタが含まれると正しく転送できないサーバがあります。エンコーディングオプションは、ファイル名に含まれるコントロールキャラクタ及び / : パスデリミタを表示可能な 3 文字に置き換える機能です。URL に使用される %00 スタイルと、%を使用できないサーバ用の -00 スタイルの 2 通りを指定できます。ファイル名に含まれる % - キャラクタは、それぞれ %% -- に置き換えられます。

例： Icon\r -> Icon%0D (\r はコントロールキャラクタ 0x0D です)

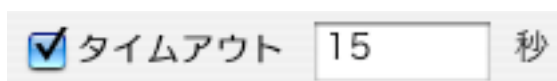
リトライ

ディレクトリ取得・ファイルの送受信時のリトライ回数を指定します。「リトライ」チェックアイテムがオフの場合、リトライ回数はデフォルトの 2 です。値は 0 回から 100 回まで指定可能です。



タイムアウト

接続時のタイムアウト時間を指定します。「タイムアウト」チェックアイテムがオフの場合、タイムアウト値は 15 秒です。値は 1 秒から 600 秒 (10 分) まで指定可能です。



シンボリックリンク (Mac OS X 用のみ)

FTP プロトコルにはシンボリックリンクを作成するプロトコルがありません。Active Mounter はこのシンボリックオプションを指定された場合、シンボリックリンクをファイルとして転送することができます。

例： `lrwxr-xr-x Headers@ -> Versions/Current/Headers` は
`-rwxr-xr-x SLNK-Headers -> Versions%2FCurrent%2FHeaders`

のように、サーバ上のファイル名先頭に SLNK-が挿入され、その後にシンボリック名 -> シンボリックリンク先とファイル名が変換され転送されます。Active Mounter がこのファイルを受信した場合、自動的にシンボリックリンクを作成します。

TCP/IP チューニング (Mac OS X 用のみ)

FTP ボリュームマウント時に TCP/IP のチューニングパラメータを設定し、小さいファイルの転送スピードを 1.1 倍から 32 倍に高速化します。

Active Mounter 以外の TCP/IP アプリケーションにも影響します（実害はありません）ので、チューニングしたくない場合はオフにしてください。パラメータは FTP ボリュームアンマウント時に、システムのデフォルト値に戻されます。

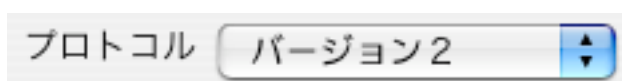
SFTP オプション設定

SFTP オプション設定 (Mac OS X 用のみ) は、一部を除いて FTP オプション設定と同一です。



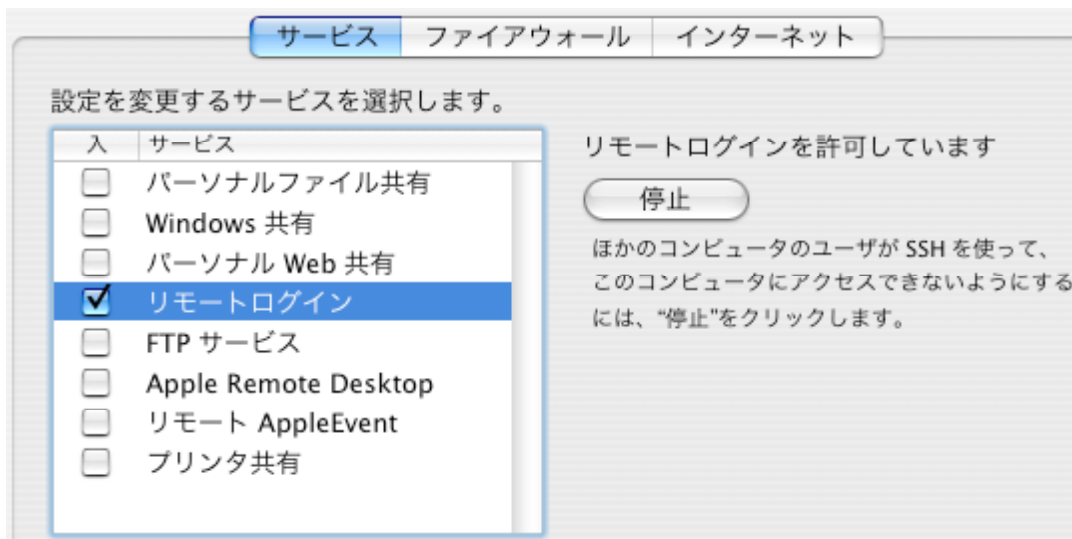
プロトコル

SFTP プロトコルのオプションを指定します。SFTP は SSH プロトコルを使用してファイル転送しますが、SSH プロトコルのバージョンには 1 と 2 があり、どちらを使用するかをポップアップメニューで指定します。



バージョン 1 はバージョン 2 の約 1/2 のパフォーマンスですので、できる限りバージョン 2 を使用して下さい。バージョン 1 を使用する場合、サーバソフトウェアは /usr/libexec/sftp-server に存在していなければなりません。

Mac OS X を SFTP サーバとして使用する場合は、システム環境設定の共有をクリックし、リモートログインをオンに設定します。



秘密鍵



秘密鍵ファイルのパスを指定します。
詳細は「SFTP の公開鍵と秘密鍵の設定」をご覧ください。

オプション



ssh コマンドの追加引数を指定します。上記の例は、ssh のコンフィギュレーションファイルを指定しています。

Active Mounter の SFTP バージョン 1 の引数は以下の通りです。

([\[\]](#)内は指定があった場合のみ使用されます)

```
/usr/bin/ssh -oFallbackToRsh no -oForwardX11 no -oForwardAgent no  
-oClearAllForwardings yes [-p <PORT>] [-i <PRIVATE KEY>] [<OPTION>]  
-l<USER> -oProtocol 1 <HOST> /usr/libexec/sftp-server
```

Active Mounter の SFTP バージョン 2 の引数は以下の通りです。

```
/usr/bin/ssh -oFallbackToRsh no -oForwardX11 no -oForwardAgent no  
-oClearAllForwardings yes [-p <PORT>] [-i <PRIVATE KEY>] [<OPTION>]  
-l<USER> -oProtocol 2 -s <HOST> sftp
```

-p <PORT>	: ポート番号
-i <PRIVATE KEY>	: 秘密鍵のパス
<OPTION>	: オプション
<USER>	: ユーザ名
<HOST>	: ホスト名

[<OPTION>](#) は ssh の全てのオプションを指定できるわけではありません。例えば -v (verbose) を指定すると、エラーを起こしてサーバに接続できなくなります。上記の引数とコンフリクトを起こさない引数のみ指定できます。

引数の詳細はターミナルで man ssh をご覧下さい。

SFTP の公開鍵と秘密鍵の設定

Active Mounter の SFTP の認証は、サーバのパスワードとパスフレーズに対応しています。ここでは各サーバごとに SSH バージョン 2 の公開鍵と秘密鍵の設定方法について説明します。

公開鍵と秘密鍵を作成するには、ターミナルを使用し `ssh-keygen` コマンドを起動します。(緑色の文字列を入力します。`user` を貴方のログイン名に置き換えて下さい。`passphrase` は貴方のパスフレーズを入力します)

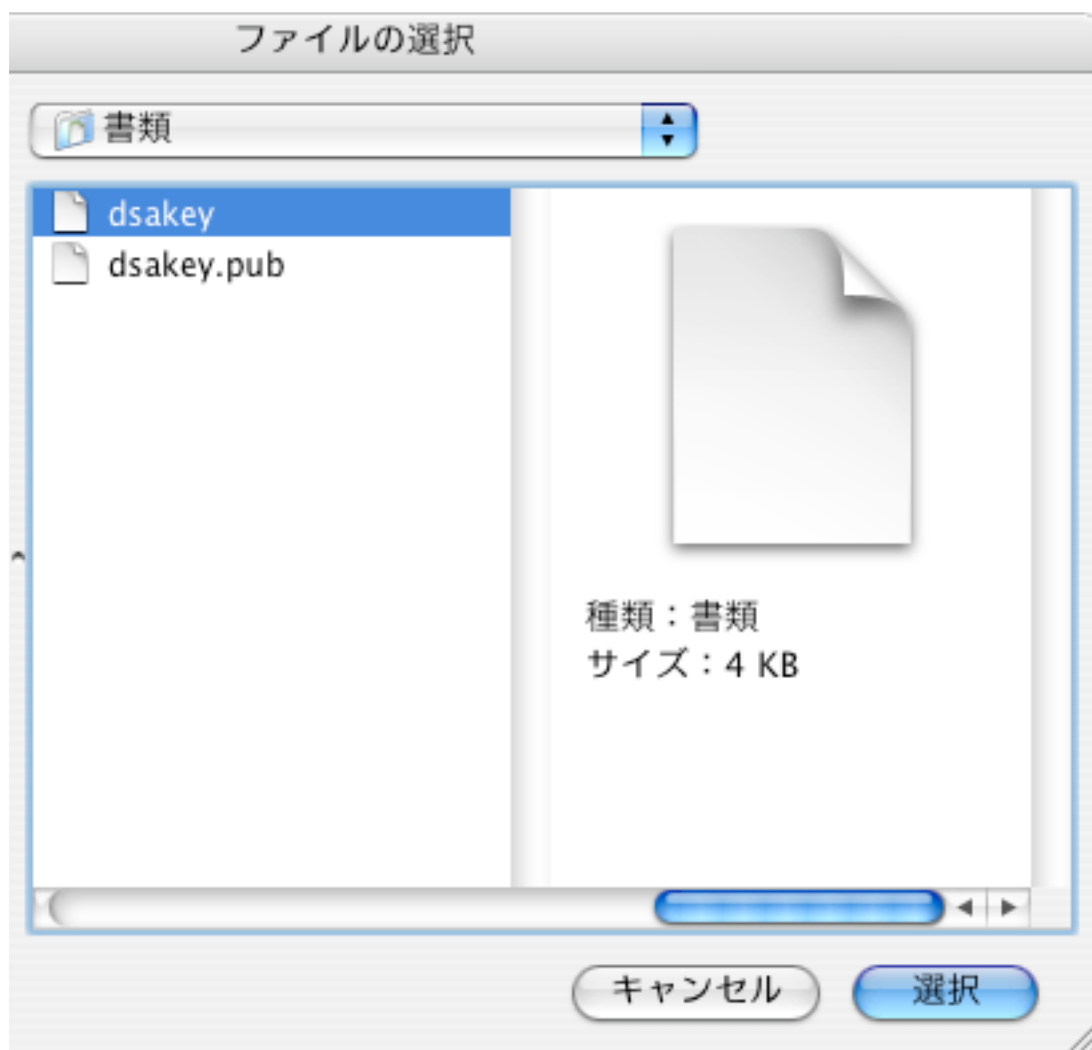
```
% ssh-keygen -t dsa
Generating public/private dsa key pair.
Enter file in which to save the key (/Users/user/.ssh/id_dsa):
/Users/user/Documents/dsakey
Enter passphrase (empty for no passphrase): passphrase
Enter same passphrase again: passphrase
Your identification has been saved in /Users/user/Documents/dsakey.
Your public key has been saved in /Users/user/Documents/dsakey.pub.
The key fingerprint is:
76:df:0d:80:9b:8f:f2:13:09:be:26:ba:97:25:da:32 user@domain.local
```

`ssh-keygen` は、`/Users/user/Documents/dsakey` (秘密鍵) と `/Users/user/Documents/dsakey.pub` (公開鍵) を作成します。

公開鍵をサーバの `~/.ssh/authorized_keys` (もしくは `authorized_keys2`) に追加します。ここでは `scp` コマンドで公開鍵をサーバにコピーします。
(`user@remote.net` を貴方のサーバ名に置き換えて下さい)

```
scp /Users/user/Documents/dsakey.pub user@remote.net:
ssh user@remote.net
mkdir -p -m 700 .ssh
cat dsakey.pub >> .ssh/authorized_keys
chmod 600 .ssh/authorized_keys
```

Active Mounter の SFTP オプション設定の「秘密鍵」チェックアイテムをクリックするとファイル選択ダイアログが表示されますので、書類フォルダ内の秘密鍵ファイルを選択します。



「秘密鍵」フィールドに秘密鍵ファイルのパスが設定されます。

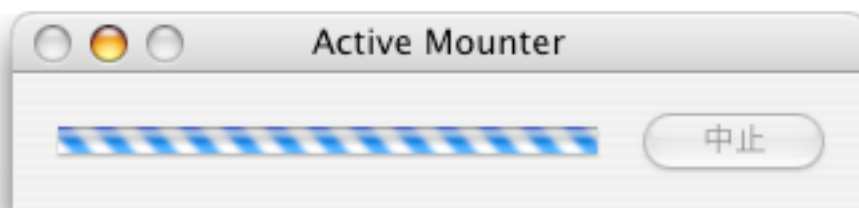


ssh-keygen で入力したパスフレーズを Active Mounter マウントダイアログの「パスワード」フィールドに入力して接続します。

プログレスダイアログ

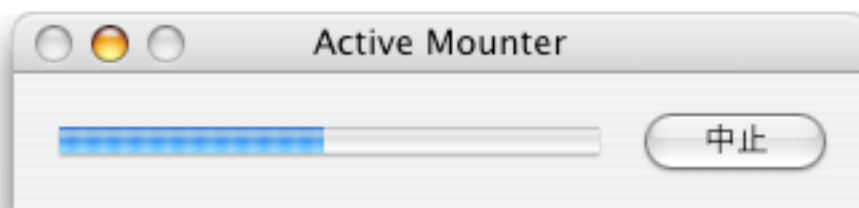
Mac OS X 用のプログレスダイアログ

サーバ接続時やディレクトリ情報取得時には、以下のようなプログレス（進行）ダイアログが表示されます。このダイアログはデフォルトで画面中央に表示されますが、表示中にタイトルバーをドラッグして移動できます。



サーバがまったく応答しない場合はコマンドキーを押しながら中止ボタンをクリックして下さい。数秒後にアプリケーションが終了しますので、オプション設定や接続ケーブルを確認後、再マウントして下さい。

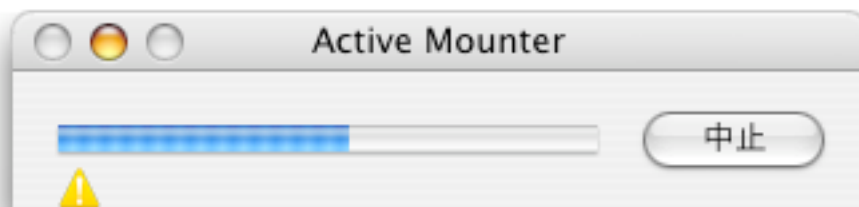
ファイルの送受信時には、以下のようなダイアログが表示されます。ファイルの送受信を中止したい場合は、「中止」ボタンをクリックします。



ファインダでファイルをコピーしている場合は、このボタンをクリックすることで即座に中止することができます。

サーバ内のドキュメントを起動した後に中止ボタンをクリックすると、起動されたアプリケーションが異常終了しますが、他のアプリケーションに悪影響は与えません。これは Mac OS X が起動時の中止を考慮していないからです。iDisk 内の巨大ドキュメントを起動すると中止する手段はありません。

ログウィンドウに#で始まるエラーが表示されている場合、プログレスダイアログの左下に警告表示アイコンが表示されます。



このアイコンをクリックするとログウィンドウを表示できます。アイコンをクリックするか「ログを表示」メニューを選択すると、アイコンは消えます。

Mac OS 9 用のプログレスダイアログ

Mac OS 9 の場合は、プログレスダイアログではなく、以下のようなビーチボールカーサがファイル送受信時に回ります。

ファイルの送受信を中止したい場合はキーボードの **esc** キーか、**コマンドキー** を押しながら **. (command-.)** を入力します。



アンマウント方法

手動でアンマウントする場合は、ハードディスクと同様にボリュームアイコンをドラックしてゴミ箱にドロップして下さい。アプリケーションを終了すると全てのボリュームが自動的にアンマウントされます。

もしアンマウントできないと警告ダイアログが表示された場合は、他のアプリケーションがマウントボリューム内のファイルを使用しているためです。そのアプリケーションを終了すれば、アンマウントできます。

メニュー

Active Mounter メニュー



「Active Mounter について...」

「Active Mounter を隠す」

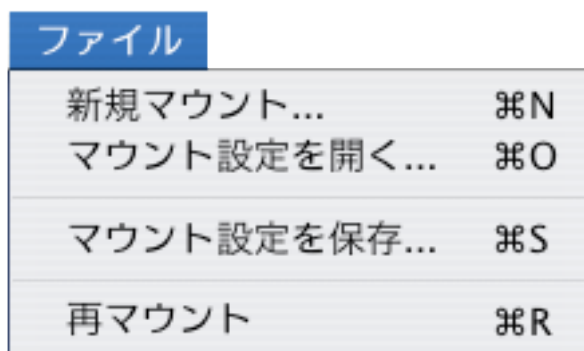
「Active Mounter を終了」

アバウト画面を表示します。

全てのウィンドウを隠します。

アプリケーションを終了します。

ファイルメニュー



「新規マウント...」

マウントダイアログを表示します。

「マウント設定を開く...」

毎回マウントダイアログでホスト名等を入力するのは大変ですので、マウント後に後述の「マウント設定を保存...」メニューでマウント設定ファイルを保存します。

再度マウントしたい場合は、この「マウント設定を開く...」メニューでマウント設定ファイルを選択して下さい。通常はマウント設定ファイルをダブルクリックすることでマウント指示が可能なため、このメニューを使う必要はありません。

「マウント設定を保存...」

毎回マウントダイアログでホスト名等を入力するのは大変ですので、マウント後に「マウント設定を保存...」メニューでマウント設定ファイルを保存します。

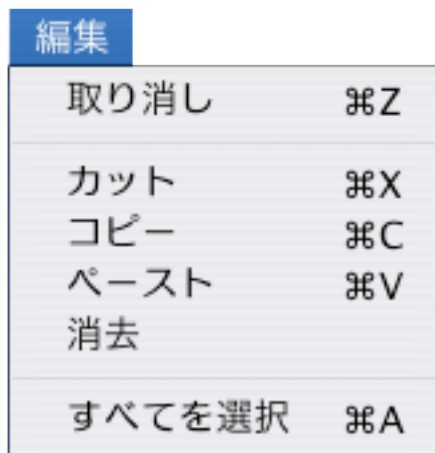
再度マウントしたい場合は、上述の「マウント設定を開く...」メニューを使用します。

「再マウント」

現在マウント中のボリューム全てを再マウントします。Active Mounter は高速化のため、可能な限りファイル・フォルダをキャッシュするように設計されています。

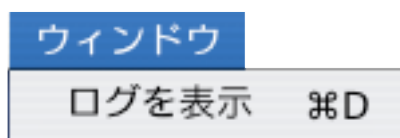
別のソフトウェアでファイル・フォルダをサーバにアップロードした場合、Active Mounter がマウントしているボリューム内に動的に表示されません。この「再マウント」メニューを使用することで、最新のファイル・フォルダを表示できます。

編集メニュー

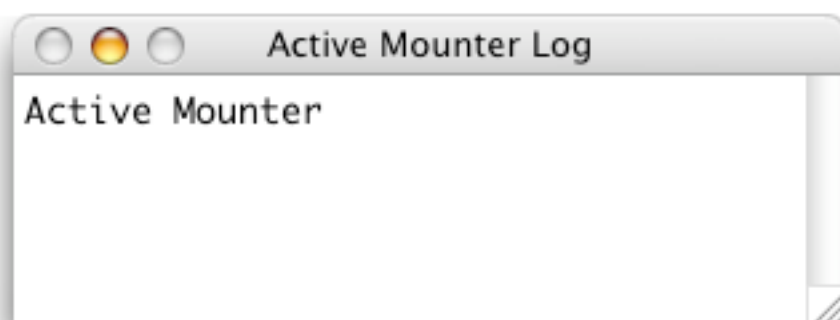


テキスト編集用メニューです。

ウィンドウメニュー



「ログを表示」



警告／エラーログ等を表示します。

もし Active Mounter で問題があった場合は、このログウィンドウに何かしらの情報が表示されているはずです。その情報をコピーして、電子メールで activeopen@mac.com 山田宛に送付願います。

キーチェーン

Active Mounter は、キーチェーンをマウント先データベースとして使用しています。ここでは、キーチェーンの概要をご説明します。

キーチェーンの詳細は、アプリケーション：ユーティリティフォルダ内のキーチェーンアクセスを起動して、「ヘルプ」メニューの「キーチェーンアクセスヘルプ」を選択して下さい。

Mac OS X 用のキーチェーン

Mac OS X のキーチェーンは、デフォルトでキーチェーンが作成されていますので、セットアップの必要はありません。Active Mounter で「キーチェーンを保存」チェックアイテムをオンにしてマウントしてからキーチェーンアクセスを起動すると、以下のように表示されます。



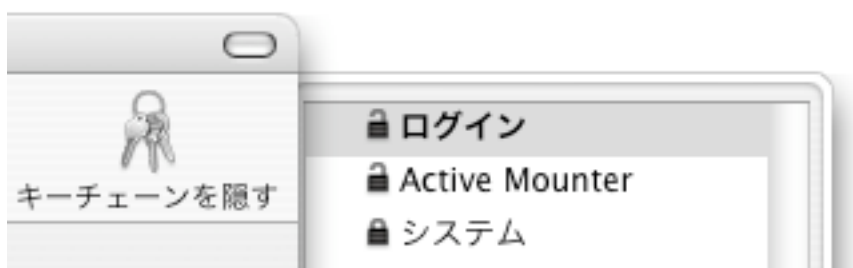
上記の例は、<ftp.anonymous.com>（実際には存在しません）にアカウント名（ユーザ名）user でログインした場合は、Active Mounter は、コメントにオプション設定を保存していますので、変更しないで下さい。

「パスワード」アイコン	手入力で新規パスワード項目を入力します
「メモ」アイコン	キーチェーンのメモを入力します
「削除」アイコン	削除したい項目をクリックして削除します
「移動」アイコン	移動したい項目をクリックして移動します (Active Mounter ではサポートしていません)
「ロック」アイコン	キーチェーンをロックします
「キーチェーン」アイコン	キーチェーンファイル一覧を表示します

パスワード項目を選択して「アクセス制御」タブをクリックすると、そのパスワードにアクセス可能なアプリケーション一覧が表示されます。



「キーチェーン」アイコンをクリックするとファイル一覧が表示されます。



上記の例では、「ファイル」メニューの「新規」:「新規キーチェーン...」で Active Mounter 専用のキーチェーンを作成した場合です。

デフォルトのキーチェーンを Active Mounter に変更する場合は、Active Mounter キーチェーン項目をクリックし、ファイルメニューの”Active Mounter”をデフォルトにする」を選択して下さい。

パスワード項目は、ドラッグアンドドロップで違うキーチェーンファイルに移動できます。

Active Mounter をバージョンアップすると、キーチェーンは登録した時のアプリケーションと異なると判断し、以下のようなダイアログを表示します。



「変更しない」ボタン すべてのキーチェーン項目を変更せずに、以下の「キーチェーンへのアクセスを確認」ダイアログを表示します。

「すべてを変更」ボタン 全てのキーチェーン項目を変更します。



「拒否」ボタン アプリケーションにパスワードを渡しません

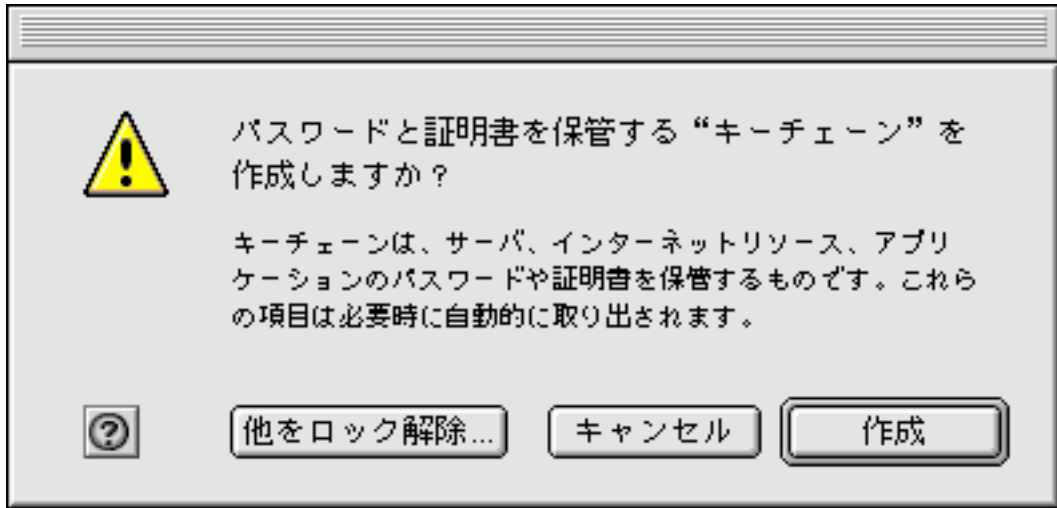
「1度だけ許可する」ボタン アプリケーションに1度だけパスワードを渡します。次回も同じダイアログが表示されます。

「常に許可する」ボタン アプリケーションにパスワードを常に渡します。

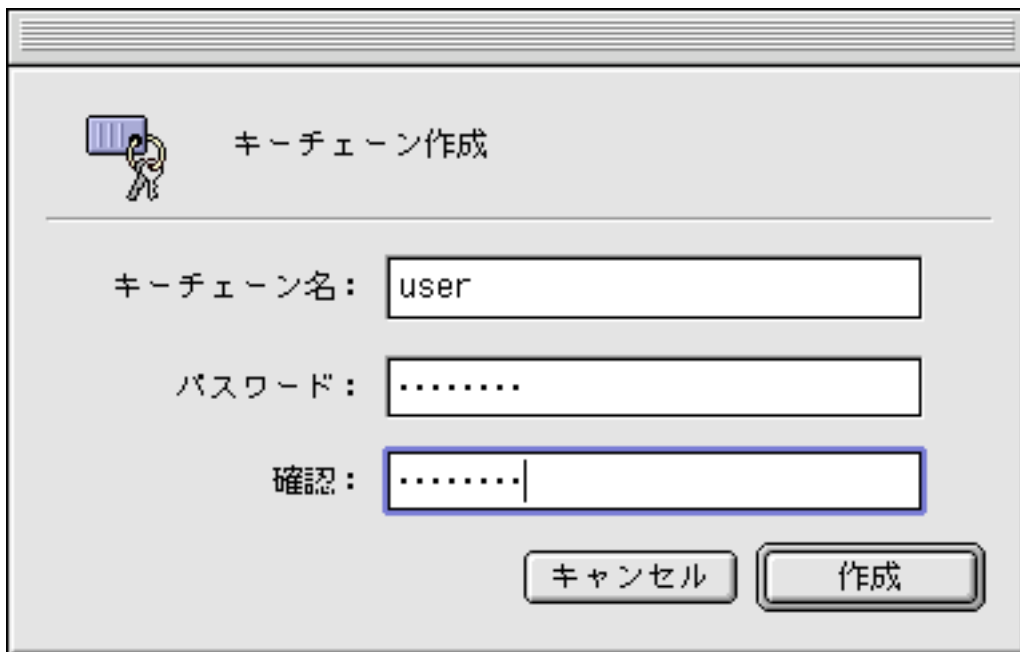
「常に許可する」ボタンをクリックすると、キーチェーンの「アクセス制御」タブの一覧に同じアプリケーション名が追加されますので、最後の項目だけを残して、他を削除して下さい。(削除しなくても実害はありません)

Mac OS 9 用のキーチェーン

Mac OS 9 のキーチェーンは、デフォルトでキーチェーンが作成されていませんので、セットアップの必要があります。コントロールパネルの「キーチェーンアクセス」を起動すると、以下のダイアログが表示されます。



「作成」ボタンをクリックしてキーチェーンを作成します。



Active Mounter で「キーチェーンを保存」チェックアイテムをオンにしてマウントしてからキーチェーンアクセスを起動すると、以下のように表示されます。



Active Mounter がマウント時にキーチェーンからパスワードを取得・保存しようとする、以下のダイアログが表示されます。



「警告なしに...」チェックアイテムをオンにして「許可」ボタンをクリックすると、アプリケーション終了まではこのダイアログは表示されません。アプリケーションを再度起動した場合は、このダイアログがまた表示されます。

ファイル／フォルダ名変換

Mac OS 9 用のファイル／フォルダ名の最大長

Mac OS 9 は旧 OS のため、ファイル名の最大長は半角 31 文字です。FTP サーバの場合は大抵 Unix 制限の半角 255 文字のため、31 文字に変換すると同じファイル名になってしまうことがあります。

Active Mounter では、実際のサーバ内のファイル名（シャドウファイル名）と、変換後の Mac OS 9 用のファイル名の両方を管理することで、コピーを可能にしています。

例：31/32/33 文字列長のファイル

```
1234567890123456789012345678901
12345678901234567890123456789012
123456789012345678901234567890123
```

がサーバに存在した場合、

```
1234567890123456789012345678901
12345678901234567890123456789_1
12345678901234567890123456789_2
```

のようにアンダーラインと数字がファイル名の最後に追加されます。

Mac OS 9 用のパス文字列デリミタ置換

Mac OS 9 ではパス文字列デリミタとして：文字が使用されるためファイル名の一部として使えません。ファイル受信時にファイル名に含まれる：は / に置き換えられます。ファイル送信時は、/ が：に置き換えられます。

コントロール文字を含むファイル／フォルダ名

FTP プロトコルでは、コントロール文字を含むファイル／フォルダ名をうまくコピーできないため、これらはコピー対象外となり、ログウィンドウに報告されます。**オプション設定の「エンコーディング」を使用すれば転送可能です。**

制限事項

現在の Active Mounter には、以下のような制限があります。
これらの制限は、今後のバージョンアップで対応予定です。

Mac OS X 用の制限事項

・ファイルサイズの上限

ファイルサイズの上限は 768MB 以下です。送受信するファイルサイズが物理メモリより大きい場合は仮想記憶のオーバヘッドで転送スピードが落ちます。

今後のバージョン：ファイルサイズの上限は 256GB になります。AppleShare のような 2GB のファイルサイズ制限もなく、DVD のディスクイメージファイルのような巨大ファイルを転送できるようになります。また物理メモリのサイズに転送スピードがほとんど影響しなくなります。

Mac OS 9 用の制限事項

・ファイルサイズの上限

ファイルサイズの上限はテンポラリメモリの連続空きエリアのサイズです。送受信するファイルサイズが物理メモリより大きい場合は仮想記憶のオーバヘッドで転送スピードが落ちます。（仮想記憶のオン／オフ両方とも対応しています）

今後のバージョン：この制限はなくなります。

・FTP サーバ内のシンボリックリンク

FTP サーバ内のシンボリックリンクは表示されません。ファイルとディレクトリのみ表示されます。

今後のバージョン：この制限はなくなります。

・マルチタスクサポート

非同期コールをサポートしていないため、ファイルコピー中に他のアプリケーションを使うことはできません。

今後のバージョン：この制限はなくなります。

サポート窓口

インターネット窓口

最新情報やライセンスキー購入方法は <http://www.activeopen.co.jp/> をご覧下さい。

現在、ウェブサイトを構築中です。β版のダウンロードや、各種ソフトウェア、最新情報等をご提供する予定ですので、お楽しみに。

セールスに関するご質問や、ユーザサポート、キーウェア版の CD-ROM 等への添付については、電子メールで activeopen@mac.com 山田宛に、もしくはお電話 (03-5337-7665) でご相談下さい。

リリースノート

2.5.2 12/03/2007

隠しディレクトリを削除できない問題を解決

2.5.1 11/24/2007

ファイル単位のアップロード時の問題を解決

シンボリックリンクの問題を解決

2.5 11/21/2007

Mac OS X 10.5 に対応

巨大メモリ (6GB 以上)搭載機種に対応

2.4 6/16/2006

Intel プラットホームに対応

2.3 6/30/2005

Mac OS X 10.4 に対応

2.2 10/6/2004

ActiveVFS KEXT の高速化・CodeWarrior 9.3 環境に対応

SFTP の秘密鍵選択ダイアログで不可視ディレクトリを表示

2.1 8/4/2004

SFTP で chmod をサポート (送信特権を「同一特権」に設定)

GUI / Core ソースコードを分離・Xcode 1.5 (gcc) 環境に対応

2.0.1 7/25/2004

ユーザ ID に@が含まれている場合のキーチェーンの問題を解決

これ以前のリリースノートは <http://www.activeopen.co.jp/> をご覧下さい。